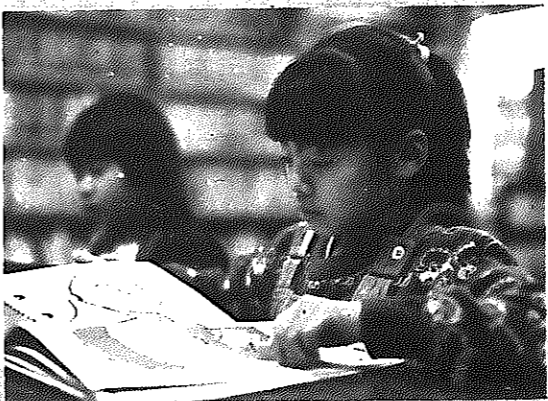


市民一人ひとりに学習する機会を提供し、充実させるのは行政の役割です。そしてそれを自分の暮らしに生かし、人生をより実り多いものにするのは、あなた自身なのです。



たいせつなもの…… あなたのヤル気

シリーズ
生涯学習 ⑤

生涯学習を進めるために
市は、こんなことを考えています。

指導者が見つからないとき

適当な指導者が見つからないときはどうすればいいのでしょうか。例えば、昼間詩吟をやってみたという仲間ができたが、指導者の見当がつかない、という場合。そのようなとき、市内に住んでいる、詩吟について優れた能力を持っている人で、あらかじめ指導者として登録された人を、有料で派遣するという「有志指導者派遣制度」を利用することができます。相談窓口は社会教育課と公民館が考えられています。

そのためには優れた能力や技術を持っている人材を発掘しなければなりません。ここで有志という言葉が付いているのは、営利目的でない指導者という意味です。

個人で学習したい人に

生涯学習はどんな年齢のときでも、あなた自身を豊かにするための学習をすること。そのために、市民の代表と行政代表で構成される推進協議会で、市民憲章を柱とした学習計画作りを進め、どんな年齢のときでも、あなたの学習をお手伝いできるように考えています。

そして、この学習計画は市が行っているさまざまな学習事業はもちろんのこと、保育園や学校、婦人会、老人クラブなどの各種団体や民間企業とも連携を図り、いろいろな所で生かされるものになります。それが一人ひとりの学習の選択の幅を広げ、学びたいときに学べる生涯学習のまちづくりになるのです。

生涯学習を推進する 組織・制度

- 生涯学習推進協議会
- 地区推進連絡会議
- 生涯教育推進庁内連絡会議
- 生涯学習推進員
- 地区担当相談員

地域づくりのためには

より良い人間関係のある地域が、ますますたいせつになってきています。この地域づくりは、行政が押しつけるものではありません。皆さんが活動しやすいように組織を作ったり、相談窓口を設けたりして、お手伝いするのが市の役割です。地域のまとまりをつくるため、祭りを復活しようという声が出たといいます。すると、内容や方法の話し合い、準備作業が行われ、人の輪が広がってきます。この活動に参加する人はみんなが自分の持っている力を出し合うことで、互いに学びあったり、ほかから学ぶということが必ずあるはずですよ。このように地域づくりに参加することは生涯学習のたいせつな部分です。

情報が欲しい

「健康についての学習会がないか」とか、「読書グループに入りたい」といった内容の相談に応じられるよう、情報を提供します。例えば「どんな内容の学習会がいつ、どこで、どんな形で行われるか」「どのような内容のグループがいつ、どこで、だれを中心活動しているか」という情報を、市内の行政機関や各種団体、民間企業などからも収集し、提供していきます。また、「何か勉強したい」という人には学習グループを紹介したり、相談に乗れることもたいせつです。

この窓口を公民館や社会教育課にして体制作りを進めることが考えられています。

見つめよう、 暮らし、そして人生

七月一日号から五回にわたってお届けした「シリーズ生涯学習」。「生涯学習」という耳慣れない言葉に、少しは慣れ親しんでいただけたでしょうか。

このシリーズでは、まず生涯学習とはどんなことなのか、感覚的に捕らえていただくことを目指しました。学校の勉強だけではない自分自身の人生を豊かにするための自発的な取り組みが、生涯学習と呼べるものであることをご理解いただければ幸いです。

急激な時代変化の中で、生涯学習に対する市全体での取り組みは、まさに今、ようやく動き出したところですよ。推進協議会を中心とする組織や制度が確実に機能していくためには、皆さん一人ひとりの学習活動という働きかけが必要です。その意味で生涯学習の推進は行政と市民との二人三脚なのです。

あなたの暮らし、そして人生を見つめ、私たちのまち白根市をつかっていきましょう。

生涯学習についての意見、質問は教育委員会社会教育課（☎373・3171）へお寄せください。